

ガス事業における技術開発年表

照明から始まったガス利用

照明から熱利用へ

さらなる利用拡大と省エネ・低炭素化技術の展開へ

年	技術開発年表	事業開始(現在の事業者のみ)	主な出来事
1872(明治5年)	<ul style="list-style-type: none"> 横浜に日本で初めてのガス会社発足 日本初のガス事業開始 (横浜にガス燈がともる) 	(1885) 東京ガス	(1609) ベルギーで石炭ガス発見 (1872) 新橋～横浜間鉄道開通
1894(明治27年)	<ul style="list-style-type: none"> ガスマントルを輸入 街灯として使われたガス灯が、行灯の代わりとして室内でも使われるようになる 		(1894-95) 日清戦争
1899(明治32年)	<ul style="list-style-type: none"> 国産ガスマントル完成 		
1902(明治35年)	<ul style="list-style-type: none"> 日本初のガス器具特許品「ガスカマド」発売 		
1904(明治37年)	<ul style="list-style-type: none"> ガスストーブの発売 		
1908(明治41年)	<ul style="list-style-type: none"> ガスコンロ(ガス七輪)、ガス火鉢発売 	(1905) 大阪ガス (1907) 東邦ガス (1908) 金沢市	(1904-05) 日露戦争
1916(大正5年)	<ul style="list-style-type: none"> 国産ガスオープン発売 	(1910) 中部ガス、広島ガス、仙台市、岡山ガス (1911) 静岡ガス、福山ガス、北陸ガス、山口合同ガス、大分ガス、福島ガス、山形ガス、足利ガス、東京ガス山梨 (1912) 東部ガス、福井市、大垣ガス、鶴岡ガス、北海道ガス (1913) 四国ガス、松本ガス、日本海ガス、小田原ガス、上田ガス (1914) 銚子ガス、久留米ガス、高岡ガス (1918) 大牟田ガス、鳥取ガス、上越市 (1922) 諏訪ガス、津山ガス (1923) 小松ガス	(1914-18) 第1次世界大戦 (1923) 関東大震災
1929(昭和4年)	<ul style="list-style-type: none"> ガス瞬間湯沸器(元止め式ガス小型瞬間湯沸器)発売 	(1927) 柏崎市、桐生ガス (1928) 武州ガス、上野都市ガス、京葉ガス (1930) 松江市、盛岡ガス、熱海ガス、塩釜ガス、米子ガス、西部ガス (1931) 宮崎ガス、館林ガス (1932) 洲本ガス、犬山ガス、伊東ガス、新発田ガス (1933) 越後天然ガス (1934) 旭川ガス (1935) 房州ガス (1936) 丹後ガス、釧路ガス (1937) 大津市、唐津ガス、豊岡エネルギー (1938) 室蘭ガス	(1941-45) 太平洋戦争
1952(昭和27年)	<ul style="list-style-type: none"> 石油を原料とするガスの製造開始 	(1941) 佐賀ガス、日本ガス (1943) 水島ガス (1947) 日本ガス協会設立(会員：75事業者)	
1956(昭和31年)	<ul style="list-style-type: none"> 日本初の球形ガスホルダー建設 		
1957(昭和32年)	<ul style="list-style-type: none"> ガス自動炊飯器、自動点火コンロ発売 	(1950) 蒲原ガス (1952) 東海ガス (1953) 津島ガス (1954) 酒田天然ガス、吉田ガス、にかほ市 (1955) 青森ガス、佐野ガス (1956) 八戸ガス (1957) 大多喜ガス、弘前ガス、東金市、御殿場ガス、釜石ガス、島田ガス、帯広ガス、秦野ガス	(1953) テレビ放送開始 (1955) 自動炊飯器発売 (1955-76) 高度経済成長期
1959(昭和34年)	<ul style="list-style-type: none"> ヒューズガス栓発売 	(1958) 大和ガス、浜田ガス、習志野市 (1959) 出雲ガス、見附市、常磐共同ガス、厚木ガス、桜井ガス、寒河江ガス、長万部町、気仙沼市、妙高市 (1960) 佐渡ガス、石巻ガス、沖縄ガス、九州ガス、十和田ガス、敦賀ガス、のしるエネルギーサービス、小千谷市、武陽ガス、下田ガス、大町ガス、埼玉ガス、由利本荘市 (1961) 湖東ガス、若松ガス、東彩ガス、野田ガス、古川ガス、五条ガス、魚沼市、秩父ガス、白子町、相馬ガス、苫小牧ガス、新宮ガス、青梅ガス、五所川原ガス、水沢ガス、滝川ガス、糸魚川市、名張近鉄ガス	(1962) 都市ガス需要家数500万戸を突破
1965(昭和40年)	<ul style="list-style-type: none"> バランス型(BF)風呂釜発売 	(1962) 大東ガス、中遠ガス、篠山都市ガス、東北ガス、北日本ガス、河内長野ガス、花巻ガス、総武ガス、湯河原ガス、天草ガス、岩見沢ガス、西武ガス、越前エネライン、因の島ガス、一関ガス、昭島ガス (1963) 富岡市、伊丹産業、西日本ガス、本庄ガス、美唄ガス (1964) 沼田ガス、庄内町、長野都市ガス、信州ガス、伊勢崎ガス、大網白里市、白根ガス、下仁田町、男鹿市、伊万里ガス	(1964) 東京オリンピック深夜電力用電気温水器発売
1966(昭和41年)	<ul style="list-style-type: none"> ワンタッチ接続具「カチット」発売 	(1965) 筑紫ガス、栃木ガス、武蔵野ガス、栄ガス消費生活協同組合、九十九里町、角栄ガス (1966) 東日本ガス、直方ガス、庄内中部ガス、新日本ガス、南日本ガス (1967) 常磐都市ガス、阿久根ガス、南海ガス (1968) 加治木ガス、新庄都市ガス、飯塚ガス (1969) 出水ガス、鬼怒川ガス	
1969(昭和44年)	<ul style="list-style-type: none"> LNG輸入開始 (LNGタンカー第1船が根岸工場入港) 		
1970(昭和45年)	<ul style="list-style-type: none"> 初のLNG地下タンク建設(横浜市) ガス地域冷暖房開始(大阪府「日本万国博覧会」と千里ニュータウン) 強制給排気型(FE)暖房機発売 	(1970) 黒石ガス、小浜ガス (1971) 鳥栖ガス、山鹿都市ガス、鷲宮ガス	(1970) 都市ガス需要家数1,000万戸を突破 (1970) 大阪万博
1972(昭和45年)	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガスへの熱量変更作業開始 	(1972) 第一ガス、京和ガス、太田都市ガス、日高都市ガス、幸手都市ガス (1973) 入間ガス、坂戸ガス、長田野ガスセンター、渋川ガス (1974) 袋井ガス (1976) 松栄ガス、長南町、高松ガス	(1973) 第1次オイルショック (1974) IHクッキングヒーター発売
1976(昭和51年)	<ul style="list-style-type: none"> 床暖房発売 		
1977(昭和52年)	<ul style="list-style-type: none"> 立ち消え安全装置付コンロ発売 		
1980(昭和55年)	<ul style="list-style-type: none"> 都市ガス警報器発売 ガスファンヒーター発売 		
1981(昭和56年)	<ul style="list-style-type: none"> ガスコージェネレーションシステム導入開始 (東京「国立競技場」) 		
1982(昭和57年)	<ul style="list-style-type: none"> ガス用ポリエチレン管(PE管)導入開始 		
1983(昭和58年)	<ul style="list-style-type: none"> マイコンメーター導入開始 マッピングシステム導入開始 		
1984(昭和59年)	<ul style="list-style-type: none"> 全自動風呂給湯器発売 		
1985(昭和60年)	<ul style="list-style-type: none"> 過熱防止センサー付コンロ発売 		
1987(昭和62年)	<ul style="list-style-type: none"> ガスヒートポンプエアコン(GHP)発売 		
1988(昭和63年)	<ul style="list-style-type: none"> 自動食器洗い乾燥機発売 		
1989(平成元年)	<ul style="list-style-type: none"> 電話回線を利用した自動通報サービス(メーター監視・遠隔遮断操作・自動検針)導入開始 		(1989) 消費税3%導入
1990(平成2年)	<ul style="list-style-type: none"> 浴室暖房乾燥機発売 業務用給湯器「タフジェット」発売 		
1991(平成3年)	<ul style="list-style-type: none"> リジェネレティブバーナー発売 		
1994(平成6年)	<ul style="list-style-type: none"> フレキ管導入開始 		(1995) 阪神淡路大震災
1995(平成7年)	<ul style="list-style-type: none"> 天然ガス自動車発売 	(1995) 年間契約ガス量200万m以上自由化 (1996) 国分準人ガス	(1995) 年間契約ガス量200万m以上自由化
1998(平成10年)	<ul style="list-style-type: none"> マイクロコージェネレーションシステム「ジェネライト」発売 		(1997) 消費税率5%へ引き上げ (1998) 長野オリンピック (1999) 年間契約ガス量100万m以上自由化 (2000) 特別高圧電力小売自由化 (2001) 自然冷媒ヒートポンプ給湯器「エコキュート」発売
2001(平成13年)	<ul style="list-style-type: none"> ガラストップコンロ発売 		
2002(平成14年)	<ul style="list-style-type: none"> 潜熱回収型高効率給湯器「エコジョーズ」発売 		
2003(平成15年)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用ガスエンジン コージェネレーションシステム「エコウィル」発売 		
2004(平成16年)	<ul style="list-style-type: none"> 初のESCO事業開始 ミストサウナ付浴室暖房乾燥機発売 「涼厨」シリーズ発売 	(2004) 年間契約ガス量50万m以上自由化 (2004-2005) 高圧電力小売自由化	(2004) 年間契約ガス量50万m以上自由化 (2004-2005) 高圧電力小売自由化
2008(平成20年)	<ul style="list-style-type: none"> 「Siセンサーコンロ(全口安全センサー標準化)」発売 		
2009(平成21年)	<ul style="list-style-type: none"> 家庭用燃料電池(固体高分子形) コージェネレーションシステム「エネファーム」発売 		
2010(平成22年)	<ul style="list-style-type: none"> 太陽熱利用ガス温水システム「SOLAMO」発売 		
2011(平成23年)	<ul style="list-style-type: none"> エネファームとHEMSとの連携スタート 		(2011) 東日本大震災
2012(平成24年)	<ul style="list-style-type: none"> 自立運転機能付き「エネファーム」の発売 家庭用燃料電池(固体酸化物形) コージェネレーションシステム「エネファーム△typeS」発売 		
2014(平成26年)	<ul style="list-style-type: none"> 商用水素ステーション稼働開始 		(2014) 消費税率8%へ引き上げ (2014) 燃料電池自動車発売
2015(平成27年)	<ul style="list-style-type: none"> 国内初のLNG燃料船が竣工、LNG供給開始 世界初の電池式家庭用ガス警報器発売 	(2013) 福知山都市ガス、エコア (2015) 堀川産業	(2015) COP21 (2016) 電力小売全面自由化 (2016) 都市ガス需要家数3,000万戸を突破 (2016) COP22 (2017) ガス小売全面自由化
2017(平成29年)	<ul style="list-style-type: none"> 業務用燃料電池(固体酸化物形) コージェネレーションシステム発売 		